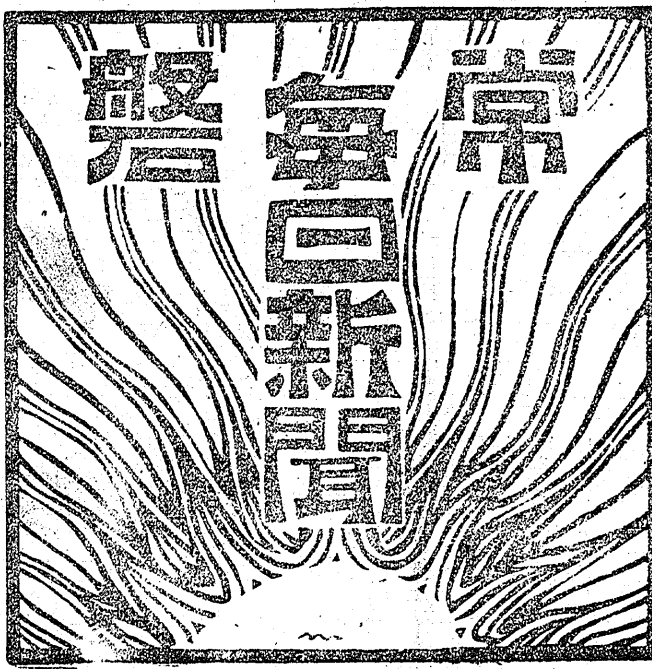


定一部金紙幣 廣五十三行 休日曜大祭 福島縣石城郡平野町長橋町三五
 一月五十五行 料字詰一 日祝日ノ登 發行所 常磐毎日新聞社
 一月五十五行 料字詰一 日祝日ノ登 電話六三〇番



日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社内(電話六三〇番) 印刷所 常磐毎日印刷所

刊夕日七月五

常磐毎日新聞
 緊縮とラヂオ

仙台放送局 佐藤吾一
 常務理事 二 承前

更に慰安と云ふ事も單に人生のなぐさみではありませぬ、人生そのもの、一部をなすことは彼の關東大震災直後復興したもの、先づ飲食店と劇場であつた點に鑑みて之を知る事が出来るのであります。ラヂオは慰安のものだと云ふても其の慰安ものは從來我々の言ふたなぐさみでなく、生活の一部に融合して居るのであります。慰安の人生に必要な事は古い例ですが砂漠のオアシスの如く岩角に咲ける百合の花の一枝にも比すべきものと思ふのであります。更に昭和元年度仙台税務監督

局の統計に依りますと、東北六縣に於ける酒の造石高は七十萬石に垂んとし其の税金が貳千二百九十三萬一千圓になつて居ります。此の外に宮城縣には麥酒の造石税がありまして之は略します、同年度東北六縣の所帶約百萬で飲み盡すものとすれば一所帶平均二十三圓の酒造税を拂ふことになりまます但しこれは税金だけであります、帝國全體としての豫算十七億、日本國民全體の飲む酒代が十三億、これは酒代だけであります。酒のさかなの代價附屬物の費用、精神上、肉體上、失はれ行くかすは決して少いものではありませぬ。他の方面から申せば日本帝國の郵便貯金を一年半に足らすして飲み盡すことになり

ます、私共は茲で禁酒の説法を試みやうとするものではないとせん、と同時に現代に即し東北開發の使命と責任とを有するラヂオは緊縮の範圍外に置かれん事を高唱して止まざるものであります (終り)

常磐文藝

灯

衣坊

どうして今宵はこんな寂しがる……
 あかい灯が一つ木の葉がぐれにふるへて見えます。

どうして今宵はこんな悲しがる……
 あかい灯が一つ木の葉がぐれにしくぐり泣いてます。

女子英學會開設

- 一、初等科
- 一、受驗科
- 一、研究科

◆講師 青山學院神學部卒業

鈴木ふよ子女史

規則書あり進呈す 南町裡

日本基督教會内

女子英學會

指環 時計 常盤屋 平盛三三九

カミミ
 ガラス
 和家具金具
 共濟病院前南町
 吉村硝子店

お醤油はヤマフル
 醬油味噌 たひら正宗 鯉節 食料品
 鹽屋
 金山崎合名會社
 福島縣平町
 電話(營業部) 二七〇番 (醸造工場) 二七〇番

外科 専門線
 増築落成病室完備
 上田外科醫院
 南町 電話一三九番

國産精工舎製
 腕時計セイコー
 提時計エンパイヤ
 抽籤付特賣
 景品總額十二萬圓
 平町五丁目
 特約店 金光堂時計店
 電話七三六番

高級車
 グラハムページ
 新型セダンを入りたい
 是非御試乗願ひ
 貸切自動車の
 用命は 昭和
 高級車で タクシーへ
 乗心地よ 昭
 平 驛前 タクシーへ
 電話 三三四三番

いや……君、見違ひたよ
 い、洋服を求めた
 いやコレカネ……
 例の「ソレ」
 正札堂
 アハハ……

正札堂

新取引所に突如停止命令 鮮魚商の死活問題

鈴木會長其他數名が 急據縣廳に出願陳情

平署は警官を派して警戒中

石城鮮魚商組合は新取引所を建設し平魚市場に對抗して引續き取引を繼續してゐたが右は市場法に抵觸するものであるから縣より認可指令のあるまゝで一時取引を停止すべきものであると六日午後四時頃縣より平署に通知があつたので荒井署長は會長鈴木又六氏外幹事數名に對し直ちに之を通告したが新取引所

は狼狽し直ちに協議會を開き今までの取引は四丁目三國屋、九市屋、穴戸屋等の魚問屋でやる事とし一方鈴木又六氏は
幹事數名と共に本日午前十一時半を發し出縣の上速かに許可する様陳情する事になつた尚平署では萬一を慮り取引所に警官を派して警戒中である

立候補者の 顔ぶれ決定

既に定員を越えて 協定は到底不成立

平町家調委員候補者は期日の切迫と共に漸く各區の擁出段取りがつかつたもの、如く起意明らかなるが

- 立町 荒川 淺治郎
- 五丁目 井上 茂作
- 同 堀江 正義
- 同 齊藤 寅吉
- 同 河田 梅吉
- 同 前澤 文太郎
- 同 緑川 喜三郎
- 同 青沼 録太郎
- 同 松永 友太郎

- 新川 長 小次郎
 - 田町 野崎 滿藏
 - 細屋 馬目 玉彌
 - 同 吉田 寅之輔
 - 久保 會川 延太郎
 - 八幡 鍋田 三重
 - 鎌田 鈴木 光吉
 - 材木 榎田 榮太郎
- の十七氏にて此外今明日中に二丁目及び三丁目から一名、三丁目及び四丁目から一名出馬の筈であり其他にも

野心家

がある見込みであるから結局町議有志の膽煎りに依る無競争協議は徒勞に終り運動白熱化するに至るであらうと

建設寄附

九日に幹部會

石城政友會では俱樂部建設の爲め豫てより寄附募集の認可を縣に出願中の處此程縣より認可指令に接したので來る九日午後一時より幹部會を開き募集方法に付種々協議を重ね全縣下に巨り募集を開始すると

家調選舉警告

明日平署で

平署では明日午前九時より平町家調委員候補者を招致し運動に關する警告をなす由

矢作式靈感

平館で講演會

日本精神醫士會地方理事矢作いせ女史は矢作式靈感法案出者三世とし醫藥を用ひ

す難病者を全快せしむる偉大なる靈力の具顯者として其名が喧傳されて居るが今回平町有志の招ぎに應じて來る九日午後一時から同四時迄平館に於て同靈感法の講話會を催し翌十日から五日間山本屋旅館に於て一般希望者に治療を施す由

初夏の旅

一 磐女關西旅行便り
(第二信) 夜行特快登山の疲れも美し、賀茂川畔の一泊によつて稍々恢復された、四日午前八時宿を出發し御陵、東陵及び乃木神社を拜し次に市車にて三十三間堂に向つた、お互ひに我が國古美術の妙に感嘆の聲をあげながら

陽氣が少し早過ぎて

梅雨が早目にやつてきた 近年に珍しい氣紛れ天氣

小名濱測候所の談

最近の天氣の定めなき、降つたり曇つたりでジメ／＼と梅雨のやうな空合續き鬱陶しいこと夥しい、例年なら今頃は新緑が一杯の日光を浴びて五月職が空に躍らうと云ふのは是はまたどうした譯だ、小名濱測候所に聞いて見る「どうも今年は陽氣が少し早過ぎて梅雨が早目にやつて來た模様です一體梅雨はオホツク海方面に七百六十六耗前後の高氣壓が漲ると來るのだが今年には既にその高氣壓が現はれ梅雨と同じやうな恰格にな

理髮屋泣かせの 新手的のどろ

汽船乗込の理髮員に 世話するまで

北海道に高飛し捕る

去る三月十三日午後一時頃横濱市中區前里町居住日本郵船會社椿丸一等運轉手正七位

勳五等

森三郎と稱する者が石城郡湯本町字三函八八理髮業伊藤繁方を訪れ自分は家出した妻シゲノが湯本地方に居るといふ事を聞いて尋ねに來た者だが貴方を横濱市の汽船乘組理髮員に世話してやらうと言ひ出したので伊藤は右の森と稱する男をもてなして二日程泊てやつたが其の男が

大工町踏切の改修

衆議院で請願採擇

大工町踏切の改修は豫て請願中の處六日の衆議院請願委員會に於て採擇となつた

常磐片々

鮮魚商組合の新取引所暗打さる、而し討たれざりにはならぬさうだ、化けて出る

雨上りの筈、家調委員候補者、イヤ出た、わ、出たわ

水野氏息の赴

炭礦經理課長水野虎三郎氏令息峯雄氏は病氣中の處六日午後八時長逝した尙ほ葬儀は八日午後三時古鍛冶町の自宅出棺善寺に於て佛式にて執行する由

御用命通り一戸も

折込は百枚に付十銭

常磐毎日新聞社

コロンビアレコード

鈴木傳明...吹込
田中絹代

進軍
進軍の歌

斷然レコード界を
リードせる
好吹込發賣

常盤屋時計店

平一電三三九

磐城名物

干やなぎ
鹽から
御進物に好適
御用命次第
廉價御提供



平四丁目
丸市魚問屋
電話二一三番

初夏サロンの新装

四月十日より

樽詰生ビール並にタンク入ソーダ
氷の用意が出来ました

ソーダファンテン設備完成

カッブ 一杯 十五錢
ジョッキ 一杯 五十錢

ドーゾ御散歩がてら御来店を...

美味で 評判の
さもちよい
サロン

平町田町

吉町目
和久井屋
電話〇五番

漆器の

御用命は

是非...

和久井屋へ
十五六才の
小店員入用

全遠藤
喫茶部新設

梅毒

淋病

淋病 皮膚病 婦人病
門專

村松
胃性腸病科
電話一七〇

体温計
寒暖計
電話四〇番

共同伴を合掌へ

錦水 田町末廣陣

出前迅速 電話ハ〇ミ番

日本浪界の神童子天才兒來る

日本一の君團子 當年十一才

日本一の桃太郎 當年十一才

補導 東洋軒雷右衛門師

外大家數名出演

當る五月九日(日)

午後五時花火台開場 聚樂館

到る處に前賣割引券の發賣部有升

主治効能どんな難瘍でも淋なら

三日のんだらビツタリとまる

治淋 トリップチン

定價 三分 金壹圓、七分 貳圓

トリプチン特約一手販賣店

大平屋藥店

電話六四二番

如神効驗、病苦即除、一應ためして其眞價を知るべし

市原醫院

平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎

外科一般、婦人科 市原陸郎

外科、梅毒、淋毒 市原三三男

入院隨時

帽子!!

皆様の御氣に召す

モダンな型

スマートな色合

中折

鳥打

子供帽

可愛らしいお子様方のために

明るい初夏の帽子

平町四丁目

ツルヤ

電話一四〇番

看護婦至急募集 (但し有資格者)

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

二男峰雄儀 病氣の處本月六日午後八時四十五分死去致候間此段御通知申上候

追而葬送の儀は五月八日午後三時自宅出棺良善寺に於て佛式にて執行付り候

昭和九年五月六日

福島縣平町古鍛冶町

水野虎三郎

外親戚一同